



広報担当

広報担当の一割!?!な話



雑まなぶくん

～第5話「消防章」～

必ずどこかで役に立つ消防プチ情報コーナー「広報担当の一割な話」。

何でも知りたがる少年雑まなぶくんからの素朴な疑問に、広報担当ならではの、一割の人しか知らないような雑学もまじえ、分かりやすく丁寧に答えしていきます。

第5話は、「消防章」についてのお話です。

知ると、あなたも話したくなる…。

ところで、広報担当さんの左襟に付けているバッジ、
かっこいいね！

まなぶくん、これは、「消防章」と言って、消防の象
徴として、消防職員の制帽や徽章をはじめ、階級章や
ボタンの中に取り入れられているんだ。



そうなんだ！いつから使われるようになったの!?

消防章が正式に使用されるようになったのは、昭和23年に自治体消防制度が発足して
から3年後の昭和26年10月に告示された「東京消防庁の使用する消防章」から始まった
んだ。

なるほど～！このデザインに何か意味はあるの!?

「消防章の図案」は、雪の結晶の拡大図を基礎としているんだよ。雪の結晶は、水、団結
及び純潔を意味し、消防職員の性情を表しているんだ！

よく見ると、筒先みたいなものがあるねー！

まなぶくん、今日は、忙しいって言ったのに…。深堀するな～(笑)

雪の結晶を基礎として、これに日章を中心として水管、管そう、筒先から放出する水柱
を配したものだよ。

水柱は、消防の任務を完遂する機械と水を表し、日章はもちろん消防のありかた、すな
わち、市民の太陽でありたいという願いを
表しているんだよ！

「消防章」は、まさに消防の象徴だね！

ま、まなぶ君、それは、
僕に言わせてよ…。

はい。ありがとう、広報担当さん。

ま、またね！

